

「宮崎県農地中間管理事業推進大会」を開催しました

県、農業委員会ネットワーク機構、農地中間管理機構は、11 月 8 日にメディキット県民文化センターにおいて県、市町村、農業委員会、JA、土地改良区など農地中間管理事業に携わる関係者約 600 名の参加のもと、「宮崎県農地中間管理事業推進大会」を開催しました。

はじめに、郡司行敏副知事が主催者を代表して挨拶を行い、丸山裕次郎県議会議長並びに農林水産省経営局農地政策課農地集積促進室峯村英児室長から来賓祝辞をいただきました。

続いて、特徴的な取組により農地中間管理事業の推進や農地集積・集約化を実践し、優れた実績を上げている県内 7 つの組織や団体を表彰しました。

受賞者	取組内容
宮崎市農業委員会	宮崎市農業委員会による担い手への農地集積・集約化
農事組合法人みのさきファーム(串間市)	集落営農法人による地域の農地を守る取組
都城市農地中間管理事業推進チーム	畑かん受益地における法人シャッフルの取組
畝倉土地改良区(えびの市)	畑かん基盤整備事業と農地中間管理事業を一体的に推進
柳瀬地区(新富町)	地域のつながりを生かした活発な話し合い活動を継続
富高の郷いきいき営農組合(日向市)	農地利用図を作成するなど現状を見える化した話し合いを継続
下野西農地管理組合(高千穂町)	自分たちの大切な農地を集落みんなで守る取組

基調講演では、(公社)秋田県農業公社の佐藤博理事長から、関係機関・団体と連携した周知活動や土地改良事業部門との強力なタッグにより国内でもトップクラスの農地中間管理事業の取組実績を残す秋田県の取組を紹介していただきました。

また、当日表彰された宮崎市農業委員会の松田実会長から農業委員・農地利用最適化推進委員の先導的な取組により農地の集積・集約化を実現した事例を、高千穂町下野西農地管理組合の江藤節男組合長から中山間地域等直接支払交付金を活用した地域の取組事例を発表いただき、えびの市東原田地区水田農業整備推進協議会の本坊照夫委員からは、経営体育成基盤整備事業の実施に向けた営農構想を発表していただきました。



基調講演



受賞者



大会宣言

最後に、都城市農地中間管理事業地域推進チームの深江望氏、宮崎県女性農業委員連絡協議会の後藤ミホ会長、畝倉土地改良区の上原康雄理事長の 3 名が「農業・農村の持続的発展を図るため、人・農地プランの実質化を核に農地中間管理事業や関連事業を活用しながら全力で取り組む」と宣言しました。

これらの優良事例を参考に各地で一層の農地集積・集約化が展開されますように、農地中間管理機構をご活用ください。地域駐在員をはじめ関係機関一同全力でサポートしてまいります。【農地第一課】

畜産公共事業 全国の仲間たちと鹿児島で意見交換

11月21日に、草地畜産基盤整備事業及び畜産環境整備事業の事業主体として実施している公社関係者が一堂に会し、全国公社営畜産事業推進協議会主催による研修会が鹿児島市内の鹿児島県地域振興公社ビルにおいて開催されました。翌22日は、あいにくの雨模様でしたが鹿児島県伊佐市にて整備された牧場施設等の現地見学が行われました。

この研修会は、同事業に取り組む各公社で構成される同協議会（現在13法人）の主催により2年に1回開催されるもので、今回も北は北海道から南は沖縄までの各公社の実施状況や取組事例報告などの座学研修、さらに意見交換の懇親会もあり、同じ事業に取り組む他公社の課題や人を知ることができ大変有意義な研修会でした。



本事業につきましては、今後とも県や市町村等との連携を図りながら、畜産経営強化のための生産基盤整備を推進していきます。

【畜産施設課】

ひなたみやざき6次産業化促進交流会&マッチング商談会

11月14日にニューウェルシティ宮崎において、6次産業化取組事業者と他産業事業者との交流を深めることを目的として交流会を開催しました。今年度は、(公財)宮崎県産業振興機構と共催してマッチング商談会が同時開催され、県外からも加工、製造、販売など多様な事業者にご参加いただきました。



第1部では、ホライズンコンサルティンググループ(株)の庄司和弘氏に、「農商工連携の始め方・進め方」と題して講演いただき、参加者から好評を博しました。

第2部では6次産業化商品の展示、支援機関紹介を行うとともに、個別相談会や6次産業化プランナーによる支援を実施しました。当日は、農業者34名、一般事業者125名、支援・関係機関・団体45名、合計204名の参加があり、新たな交流の場は盛会となりました。

【新農業支援課】

六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画が新たに2件認定される

宮崎県内事業者の六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画が新たに2件認定されました。今回の認定により、本県の総合化事業計画の認定は、平成23年度からの累計で111件となり、全国3位、九州1位の認定件数となっています。

【新農業支援課】

新たに認定を受けた総合化事業計画

事業者	事業名	市町村	認定月
株式会社 BEBUYA	雌子牛の付加価値を上げる肥育及び牛肉の直接販売事業	えびの市	令和1年9月
有限会社 東康夫養鶏場	アニマルウェルフェア、Non-GMO飼料による高付加価値鶏卵の生産と販売強化事業	えびの市	令和1年9月

「みやざき就農“応援”相談会2019」開催しました

県内で就農を希望する方や農業に興味がある方の、農業・農村に対する理解や知識を深め就農・就職につなげることを目的とした「みやざき就農“応援”相談会2019」を11月10日(日)にJA・AZMホール本館で開催しました。

当日は59人の参加があり、東京都、滋賀県、鹿児島県からも3の方が来場されました。

本相談会は、平成19年度から当公社、宮崎県農業会議、JA宮崎中央会の三者主催で毎年開催していて、本県の新規就農者の中にはこの相談会がきっかけとなり就農された方が多数おられます。

今年度は、個別相談に加えて、初めての取組みとして講演会を実施しました。

講師は、ジェイエイファーム宮崎中央で研修後就農された黒木陽介氏、川南町の農事組合法人香川ランチ代表理事で、鶏卵販売から6次化まで幅広く取組まれている香川憲一氏のお二人でした。

黒木氏には、就農まで御苦労された体験等について、香川氏には、農業法人経営者の立場から農業の可能性について、それぞれ自営就農や雇用就農を目指す方に向けて御講演いただきました。

参加者は熱心に聴講され、講演後には、「農地やハウスは買ったのか」、「農協出荷を選ばれたのはどうしてか」等、質問も多数ありました。

個別相談は、自営や雇用就農、異業種参入、各市町村・JA等の研修、機械、ハウス説明等のブースを設け、様々な相談に対応しました。

就職の相談については、農業法人等やハローワークに御対応いただき、就職活動中の方等が、積極的に話を聞かれていました。

また、今回初めて、「お試し就農」の紹介ブースを設置しました。「お試し就農」は、最大3カ月の農業法人等での体験就業で、相談会後にさっそく始めた方もおられます。

来場者のアンケートでは、「前向きにがんばれそうです」というコメントもあり、今回の就農相談会の実施により、就農への後押しはもとより農業の魅力発信にもつながったのではと思います。

今後も多くの方が次のステップにつながるよう、関係機関と連携して就農相談活動を継続していきます。

【担い手支援課】



講演会の様子



幅広い質問に答える就農相談ブース



県内各地から出展があった市町村・JA等のブース



農業機械レンタル・ハウスの説明やベテラン農家さんと話ができるコーナー



農業法人から会社説明を受ける相談者

「6次産業化チャレンジ塾」 17名が修了

11月29日に宮崎観光ホテルで、6次産業化を目指す人材育成を目的とした「みやざき6次産業化チャレンジ塾」の閉講式を行いました。

式に先立って、塾生それぞれがチャレンジ塾を通じて学び、考え、練り上げてきた経営理念や経営ビジョンなど、これからの夢の実現に向けた6次化プランについて発表を行いました。引き続き行われた閉講式では、公社の梅原理事長が受講生の代表者に修了証を授与し、「6次化チャレンジャー」13名、「6次化プロデューサー」4名の合計17名が8月からの全10日間のカリキュラムを修了しました。

今回を含めこれまで8回開催し、修了者は309名になりました。プランに掲げた目標を見事実現され実績を重ねていると嬉しい声が届いております。来年度も引き続きチャレンジ塾を開講する予定としておりますので、すでに6次産業化に取り組んでいる方、これから挑戦する方、ぜひふるってご参加ください。

【新農業支援課】



6次産業化ミニチャレンジ塾を開催します

公社では、「チャレンジ塾」の体験版として、毎年、県内各地で「6次産業化ミニチャレンジ塾」を開催しております。今年度は、1月10日に高鍋町で開催する児湯地域6次産業化ミニチャレンジ塾を皮切りに、綾町、日向市での開催を予定しております。それぞれに内容を変えておりますので、関心の高い講義にぜひ、ご参加ください。

【新農業支援課】

開催地	開催日	講義内容	募集開始時期	申込〆切日
高鍋町	1月10日(金)	事業計画の作成	募集中	12月27日
綾町	2月27日(木)	販売を見据えた商品開発	1月下旬頃	2月中旬頃
日向市	3月5日(木)	衛生管理・施設管理	2月上旬頃	2月下旬頃

これからの行事予定

主催行事に★

日付	行事	会場	問合せ
1月25日(土)	宮崎で就農! 就農希望者のための移住検討会	東京都 ヲラホ セミナール	担い手支援課
1月25日(土)	新・農業人フェア	東京都 サンシャイン池袋	担い手支援課
2月18日(火)	6次産業化衛生管理・品質管理向上研修会	宮崎市 シーガイコンベンションセンター	新農業支援課 ★
2月24日(月)	マイナビ就農FEST	東京都 新宿ミライナタワー	担い手支援課
3月22日(日)	2020あったかひなた宮崎 ふるさと就職説明会	東京都 新宿エルタワー	担い手支援課

豊かな農業経営・新しい未来のために

発行 公益社団法人宮崎県農業振興公社
〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14
電話 0985(51)2011 FAX0985(51)8006